

○「担い手の意見を聴き取りへ」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

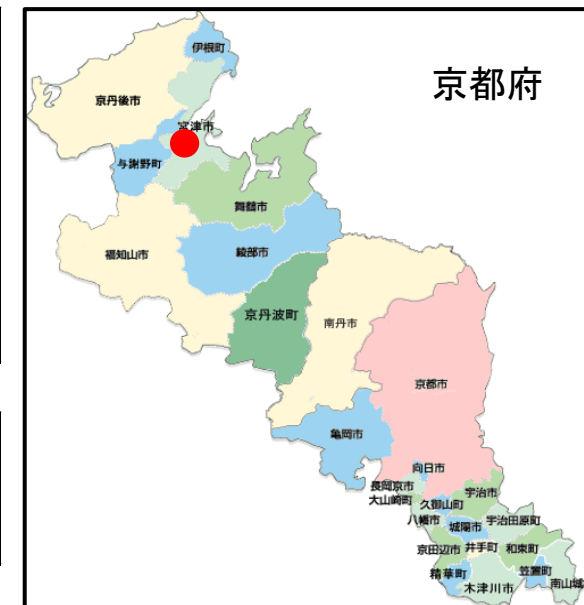
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月25日(月) 19:00～21:00
- 場 所: 宮津市役所
- 出席者: 委員4人、推進委員1人、事務局1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
 辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
 山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 宮村農地営農組合(非農家含む同年代の16名の集まり)が遊休農地1haに水稻作付け
 日常管理は3名。賃金や機械使用料等を支払い
 →7月23日に、地域の担い手に以下の状況を聴取して今後の対応を検討する(重点集落を検討)
 - ・荒廃農地対策
 - ・草刈り実施方法
 - ・集落営農

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |